

脳内ニューヨーク (2008)

SYNECDOCHE, NEW YORK

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 124分

初公開日 2009/11/14

公開情報 アスミック・エース

映倫 PG12

【キャッチコピー】

人生には“何か”あるはず

【解説】

「マルコヴィッチの穴」や「アダプテーション」などエキセントリックな作風で賞賛を集める脚本家チャーリー・カウフマンが初監督を務めたコメディ・ドラマ。現実のニューヨークの中に、自分の頭の中のニューヨークを実体化させるという突飛な着想の舞台上演を実現させようと奔走する劇作家が、その過程で人生にとって大切なものは何かを模索していく姿を奇想天外な世界観で綴る。主演は「カポティ」のフィリップ・シーモア・ホフマン。

画家の妻アデルと娘オリーブに囲まれニューヨークに暮らす劇作家ケイデン・コタード。彼が手掛けた作品は一定の評価を受け順風満帆に思われたが、アデルは個性のない舞台演出を続ける覇気のない彼に失望し、ついにオリーブを連れてベルリンへと去ってしまう。劇場の受付嬢ヘイゼルを相手に孤独を紛らわすも、アデルへの未練から関係を進展できずじまいのケイデン。だが、そんな冴えない彼にある日、転機が訪れる。マッカーサー・フェロー賞（別名“天才賞”）を受賞したとの報せが舞い込んできたのだ。すると、ケイデンは、その賞金全てを注ぎ込んだ突拍子な企画を思いつく。それは、巨大な倉庫の中に、自分の頭の中にある“もうひとつのニューヨーク”を作り上げる、という壮大なプロジェクトだった。やがて、集まった俳優たちに“舞台のニューヨークの中に自分の人生を構築し、再現せよ”と指示し、準備を進めていくケイデンだったが…。

【クレジット】

監督	チャーリー・カウフマン	Charlie Kaufman
製作	アンソニー・ブレグマン	Anthony Bregman
	チャーリー・カウフマン	Charlie Kaufman
	スパイク・ジョーンズ	Spike Jonze
	シドニー・キンメル	Sidney Kimmel
製作総指揮	ウィリアム・ホーバーク	William Horberg
	ブルース・トール	Bruce Toll
	レイ・アンジェリク	Ray Angelic
脚本	チャーリー・カウフマン	Charlie Kaufman
撮影	フレデリック・エルムズ	Frederick Elmes
視覚効果監修	マーク・ラッセル	Mark Russell
プロダクションデザイン	マーク・フリードバーグ	Mark Friedberg
衣装デザイン	メリッサ・トス	Melissa Toth

編集	ロバート・フレイゼン	Robert Frazen	
音楽	ジョン・ブライオン	Jon Brion	
音楽監修	ボニー・グリーンバーグ	Bonnie Greenberg	
出演	フィリップ・シーモア・ホフマン	Philip Seymour Hoffman	ケイデン・コタード
	サマンサ・モートン	Samantha Morton	ヘイゼル
	ミシェル・ウィリアムズ	Michelle Williams	クレア・キーン
	キャサリン・キーナー	Catherine Keener	アデル・ラック
	エミリー・ワトソン	Emily Watson	タミー
	ダイアン・ウィースト	Dianne Wiest	ミリセント・ウィームズ
	ジェニファー・ジェyson・リー	Jennifer Jason Leigh	マリア
	ロビン・ワイガート	Robin Weigert	オリーヴ
	セイディー・ゴールドスタイン	Sadie Goldstein	オリーヴ
	ホープ・デイヴィス	Hope Davis	マドレーヌ・グラヴィス
	トム・ヌーナン	Tom Noonan	サミー・バーナサン